

CSW65 サイドイベントに参加して

私はCSW65に参加して、非常に多くの知識や経験を得ることができました。オンラインでの開催だったため、多くのサイドイベントやパラレルイベントに参加することができ、様々な方の多様な経験や考えに触れ、たくさんの刺激を受けました。また、一つのパラレルイベントで発言の機会をいただいたことは、国際社会のなかで自分の意見を言葉にするという大変貴重な経験となりました。

今回、CSW65 サポーターとしてサイドイベントに参加し、報告書作成に関わらせていただいたことは私にとって大きな挑戦でした。政治や選挙制度について、またそれらに関する語彙など、勉強不足な部分も多く非常に苦戦しましたが、多くのご指導のおかげで自分なりに理解し考えることができました。その中で最も印象に残っている点が二つあります。

一つ目は、政治分野における女性に対する暴力の深刻さです。これまで議会での女性に対する暴言などが報道されるのを見て、女性議員は心ない言葉で罵られることがあるのだと知っているつもりでした。しかし、サイドイベントのなかでIPUによる調査結果の数値に驚くとともに、過少報告が一般化していることで実際の被害はそれ以上であることに恐怖を覚えました。女性が政治分野で活躍することはこんなにも危険が伴うことなのかと気づかされると同時に、女性が安心して政治分野を志し、活躍することができる社会になればと強く思うようになりました。そのために、私たちのような若者も自分で考え行動できるよう意識を高めていかなければいけないと思っています。

二つ目は、女性リーダーとしての役割についてです。今回のサイドイベントへの参加をきっかけに、女性がリーダーになったとき、他者に対するケアを中心にするような女性らしいリーダー像が求められることは本当にジェンダー平等に配慮していると言えるのかを考えるようになりました。マイノリティに属していたり社会的に弱い立場に置かれた経験のある人が、声をあげてリーダーになることはとても意味のあることではないかと考えます。女性が女性であることを理由に弱い立場に置かれているのであれば、その声を代表する女性のリーダーの存在はとても重要なものになると思います。しかし、他者に対するケアができ、少数派や弱い立場にある人びとのために行動を起こせるリーダーは、性別にかかわらず必要とされるのではないかと考えます。女性がリーダーになることはどういうことなのか、どのようなリーダー像が求められるのかを考えるようになりました。

このサイドイベントを含め、様々なイベントに参加して、学び、考え、感じた多くのことをきちんと振り返り、身近な仲間や同世代の人びとも共有したいと思っています。それが、みんなで考え行動におこすための第一歩になるのではないかと期待しています。